



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年3月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2024年2月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル、

ともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊

収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファックス：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・確報 (2024年2月分)

◎2024年2月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を上回りました。

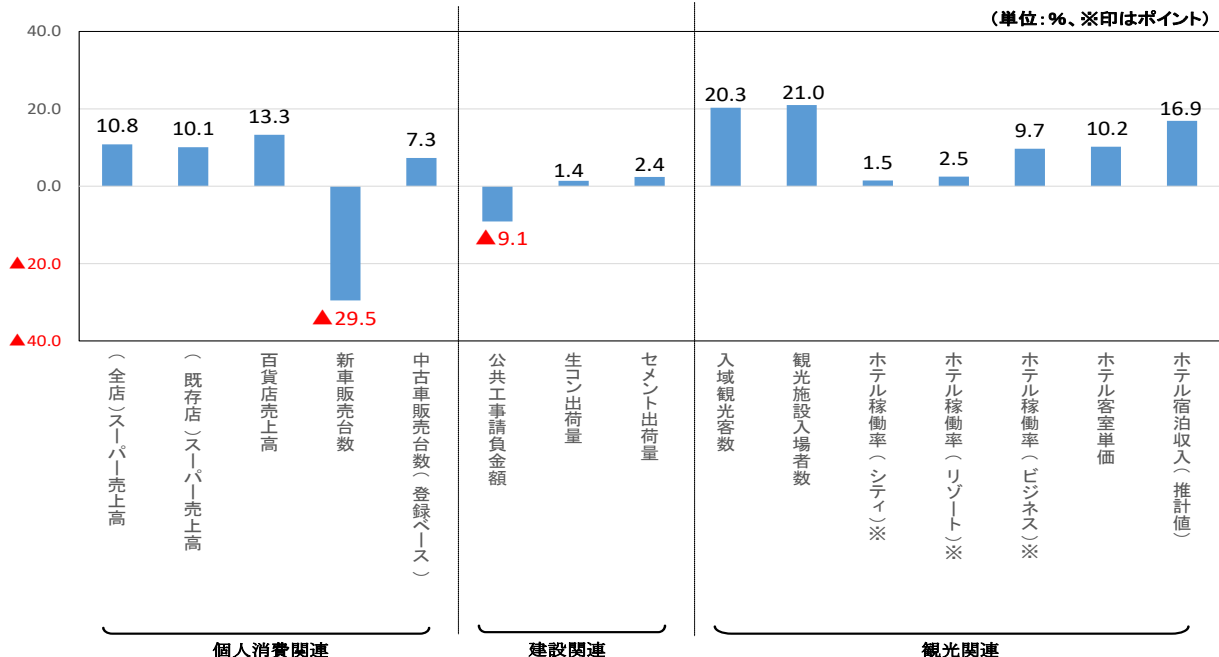
建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設関連は、概ね堅調に推移しています。観光関連は、各種イベント開催や外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から5か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)



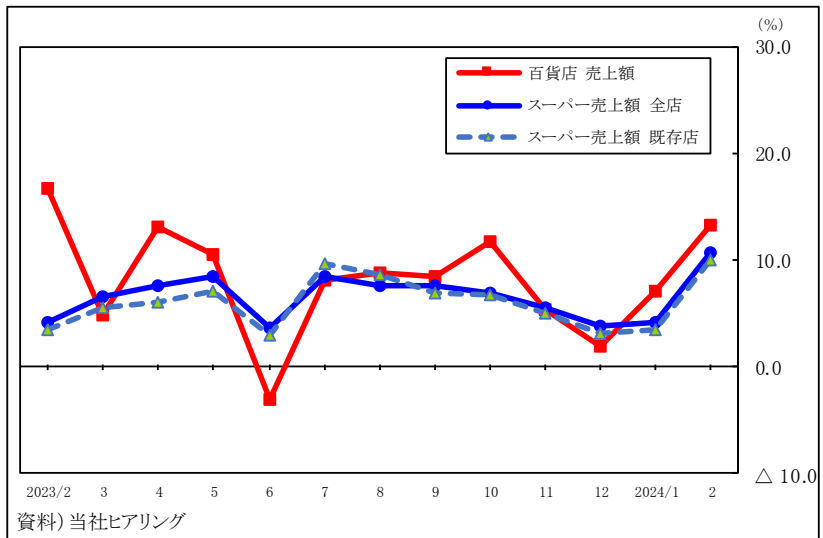


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/2	4.1	3.5	16.7
3	6.6	5.6	4.9
4	7.6	6.1	13.2
5	8.4	7.1	10.6
6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3



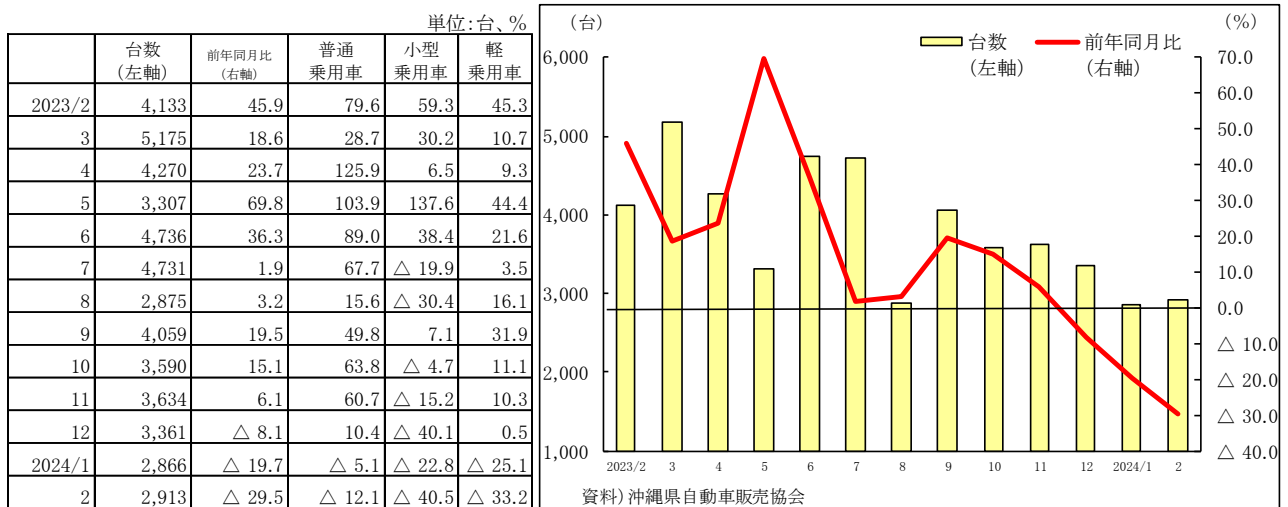
注) 前年同月比

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 10.8%増)」は、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 10.9%増)」は、バレンタインや節分、旧正月などのイベント関連商品が好調に推移したことや物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 12.6%増)」は、新生活向け商品の販売好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 8.8%増)」は、前年同月を上回りました。また、各品目ともうるう年の影響により営業日が1日多かったことや来店客数の増加も好調要因となりました。

「既存店ベース(同 10.1%増)」は、21ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 10.1%増)」は、イベント関連商品の好調や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「家庭用品(同 11.4%増)」は、新生活向け商品の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 8.8%増)」は前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 13.3%増)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 9.6%増)」は、バレンタイン企画や免税売り上げの好調等により前年同月を上回りました。「衣料品(同 14.0%増)」は、企画の好調や式典関連商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 30.5%増)」は、企画の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては7ヵ月連続で前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

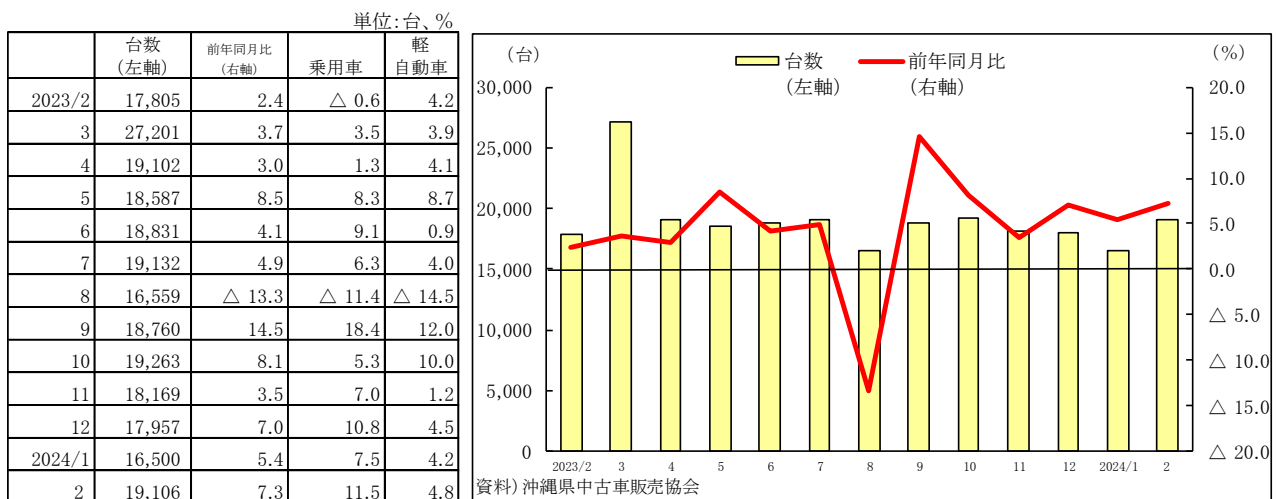


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で2,913台(同29.5%減)となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同12.1%減)」、「小型乗用車(同40.5%減)」は一部メーカーの出荷停止や受注の遅れ、レンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。「軽乗用車(同33.2%減)」は、一部メーカーの出荷停止やレンタカー台数の減少などにより前年同月を下回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

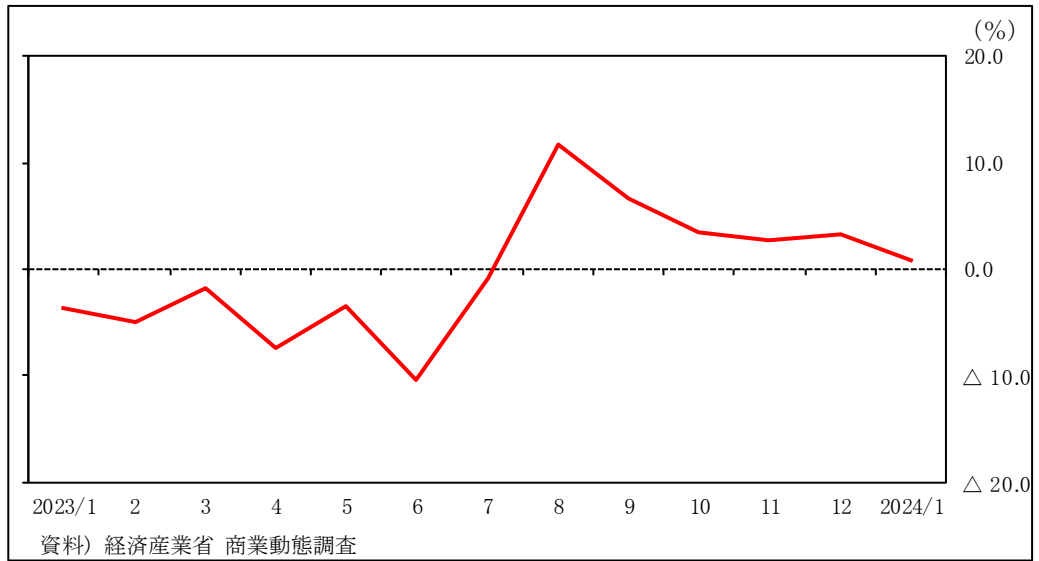
注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で19,106台(同7.3%増)となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同11.5%増)」、「軽自動車(同4.8%増)」と前年同月を上回りました。

④ 【参考：1月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

単位：%

	販売額
2023/1	△ 3.6
2	△ 5.0
3	△ 1.7
4	△ 7.5
5	△ 3.5
6	△ 10.4
7	△ 0.8
8	11.8
9	6.6
10	3.5
11	2.7
12	3.2
2024/1	0.8



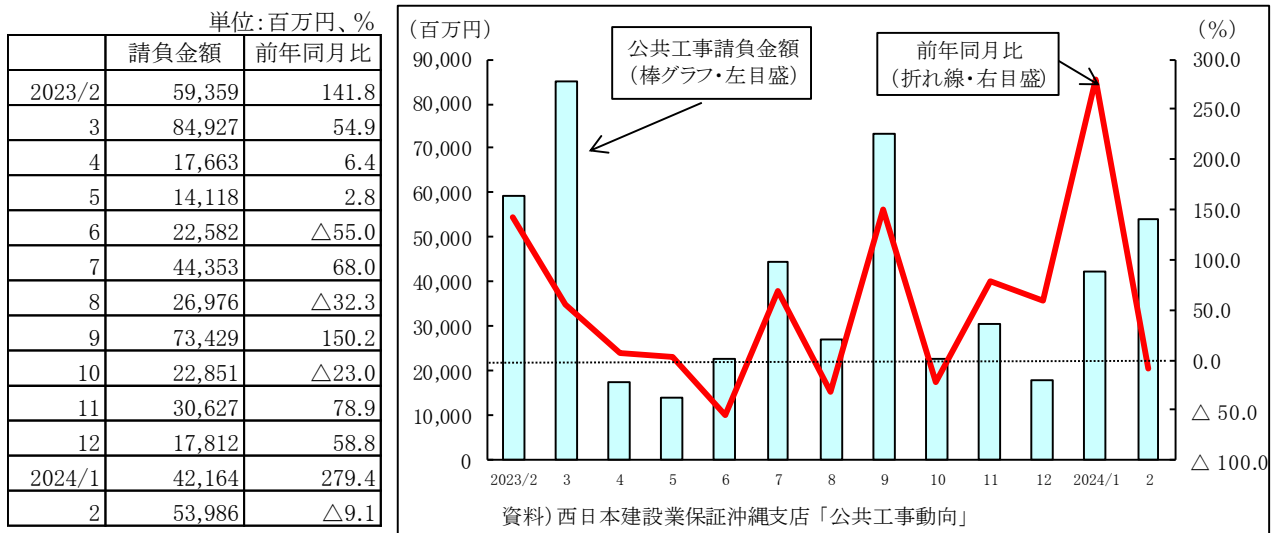
注) 前年同月比

1月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

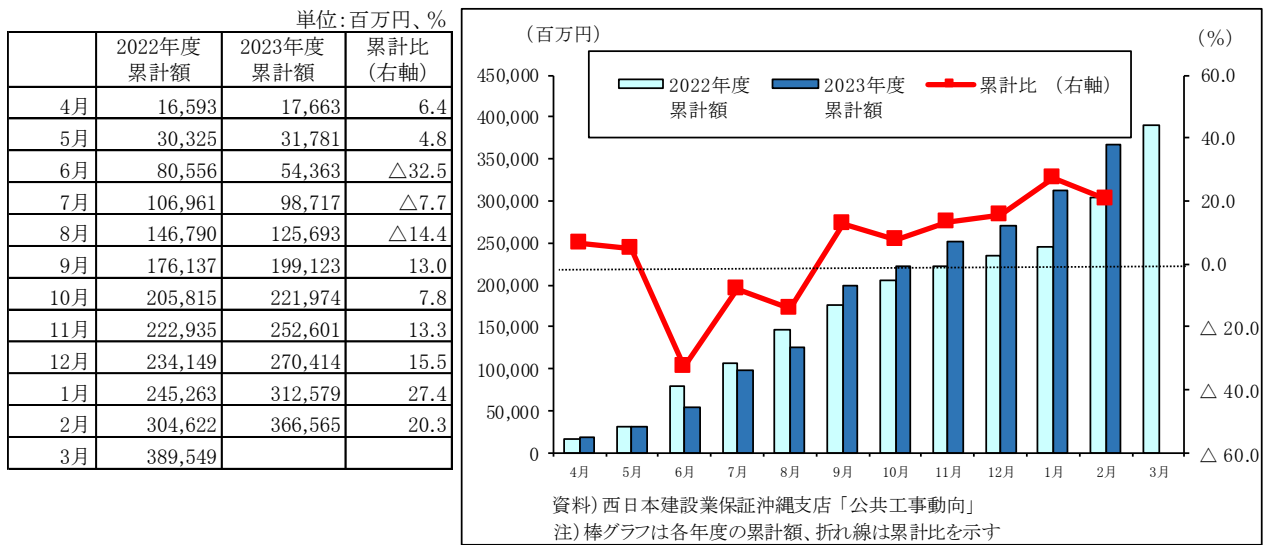


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



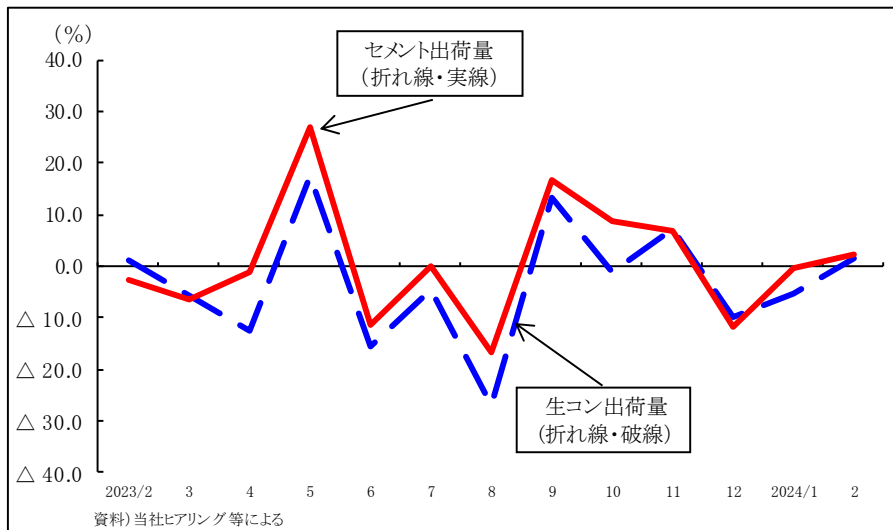
2月の公共工事請負金額は、前年同月比 9.1%減の 539 億 8,600 万円となりました(4ヵ月ぶりに減)。

発注者別でみると、「国(同 16.5%減)」、「その他の公共的団体(82.0%減)」、「独立行政法人等(80.4%減)」は前年同月を下回りました。一方、「市町村(同 63.8%増)」、「沖縄県(同 12.7%増)」は前年同月を上回りました。

② 建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/2	1.0	△ 2.8
3	△ 5.7	△ 6.5
4	△ 12.6	△ 1.2
5	17.3	26.9
6	△ 15.7	△ 11.3
7	△ 4.7	0.0
8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4



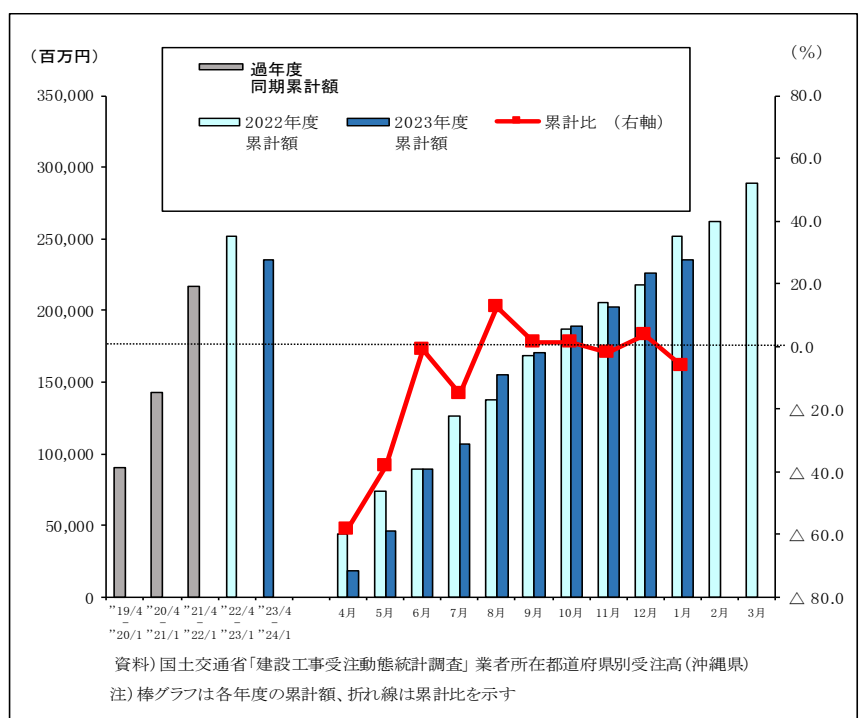
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は 1.4%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳をみると、民間工事向けは、北部地区、中南部地区、宮古地区での出荷が増加したことなどから前年同月を上回りました。一方、公共工事向けは、中南部地区、石垣地区での出荷が減少したことなどから前年同月を1.2%下回りました。**セメント**の出荷量は、2.4%増と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③ 【参考】民間等元請受注 (年度累計) …前年同期を下回る。

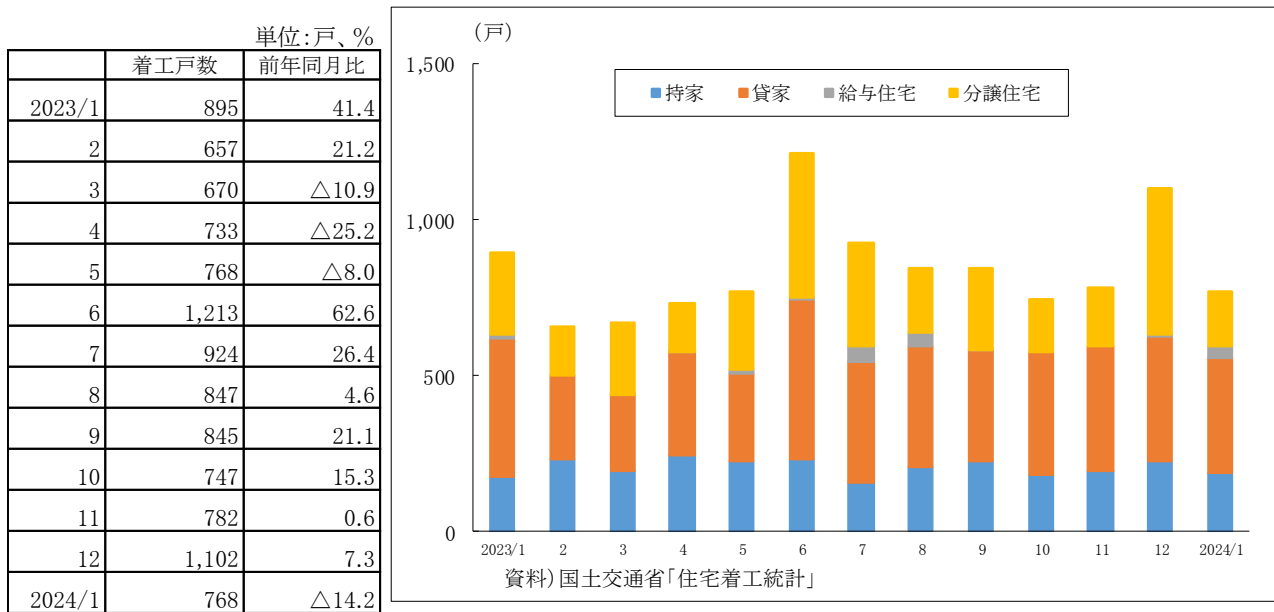
単位:百万円、%

	累計額		
''19/4	/		
-''20/1		90,192	
''20/4		143,024	
-''21/1		217,338	
''21/4		251,544	
-''22/1		235,764	
	2022年度 累計額	2023年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	43,646	18,069	△58.6
5月	73,695	45,654	△38.1
6月	89,558	88,815	△0.8
7月	126,129	106,797	△15.3
8月	137,971	155,056	12.4
9月	168,658	170,863	1.3
10月	186,983	189,095	1.1
11月	205,895	202,154	△1.8
12月	218,471	226,690	3.8
1月	251,544	235,764	△6.3
2月	262,699		
3月	288,537		



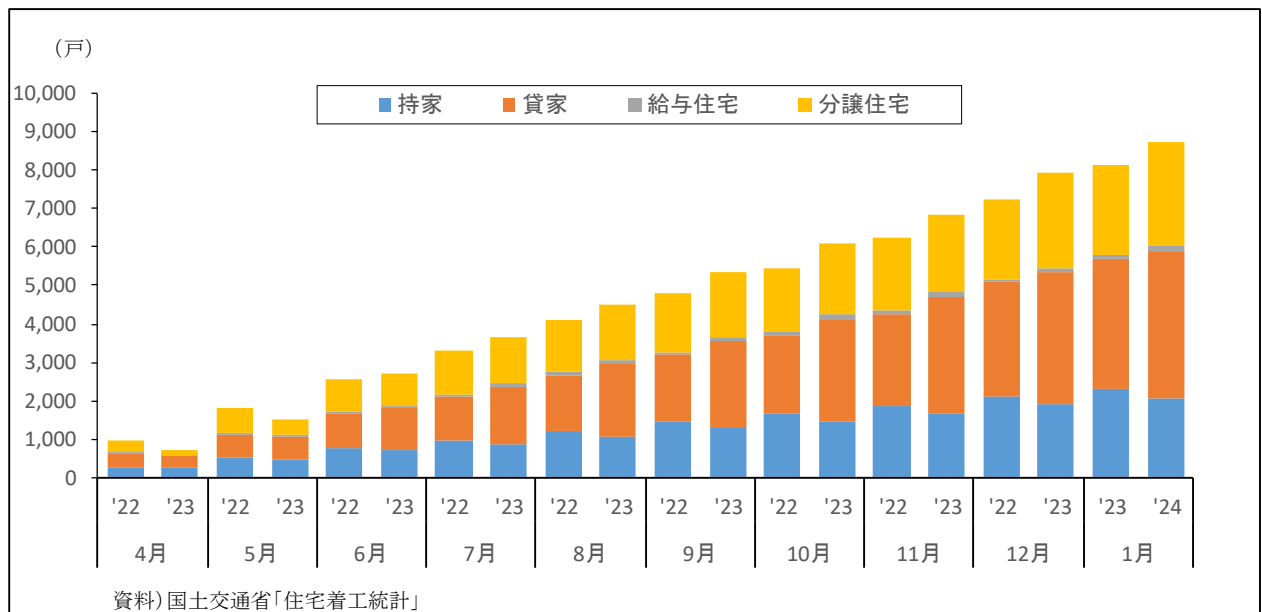
今年度累計値では、6.3%減となっています。

④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を下回る。



1月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比14.2%減の768戸となり、8ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同35.7%減)」、「貸家(同16.9%減)」は前年同月を下回りました。一方、「給与住宅(同272.7%増)」、「持家(同7.5%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資 (年度累計)・・・着工戸数は前年同期を上回る。



今年度累計値では、7.1%増となっています。

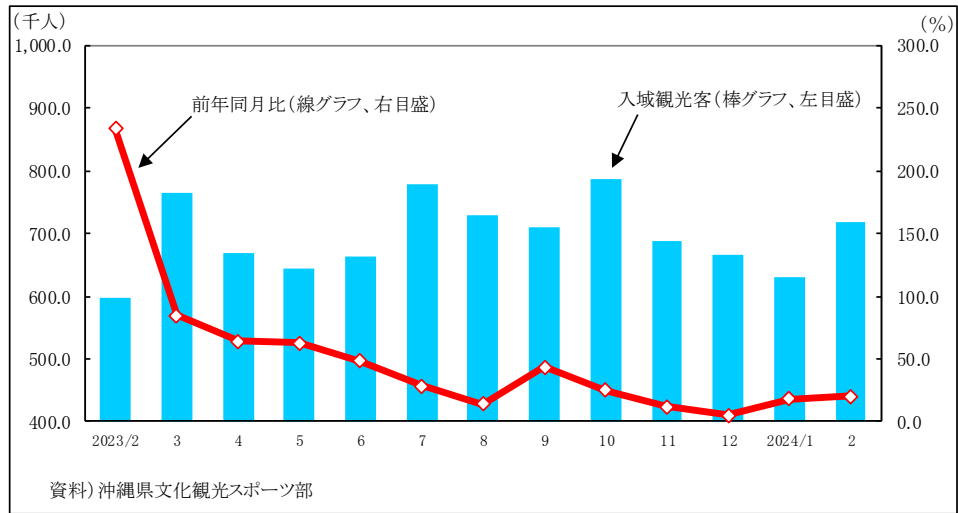


■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2023/2	597.9	233.6
3	766.2	84.3
4	669.8	63.8
5	645.2	62.6
6	663.4	47.9
7	778.8	28.1
8	728.6	13.7
9	710.1	43.5
10	788.3	25.0
11	688.2	11.9
12	666.7	5.0
2024/1	629.1	18.2
2	719.2	20.3

※外国客は乗務員等を含む

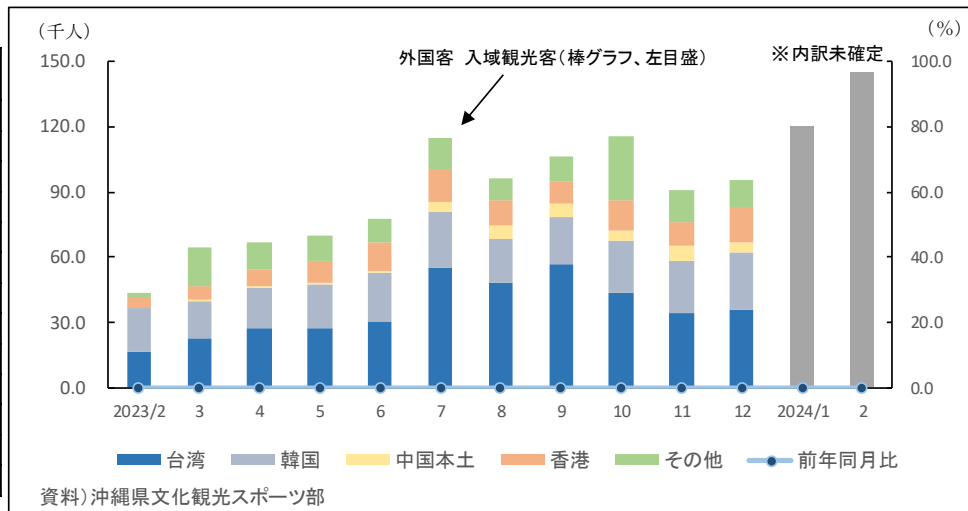


外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。

単位:千人、倍		
	入域観光客	前年同月比
2023/2	43.4	N/A
3	64.2	N/A
4	66.7	N/A
5	69.9	N/A
6	77.7	N/A
7	115.2	N/A
8	96.4	964倍
9	106.6	N/A
10	115.4	42.7倍
11	91.1	7.5倍
12	95.2	2.9倍
2024/1	120.3	2.7倍
2	144.8	3.3倍

※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。



2月の入域観光客数は、121,300人多い719,200人(前年同月比20.3%増)となり、27ヵ月連続で前年同月を上回りました。要因として3連休が2回あったことや、プロ野球キャンプ見学などの各種イベント開催などが挙げられます。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、53,000人減少(6.9%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、42,300人増加(7.9%増)となっています。

外国客入域観光客数は、144,800人となりました(空路94,400人、海路50,400人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

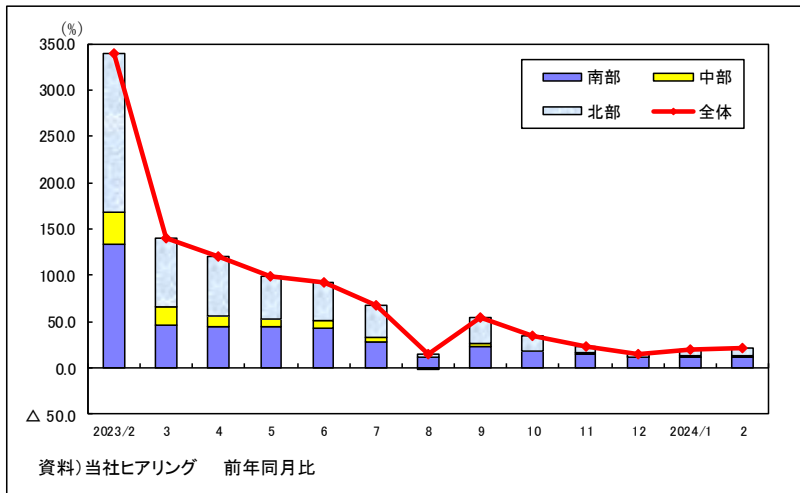
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/2	339.9	606.5	290.8	260.6
3	139.9	139.5	180.1	132.3
4	119.7	132.0	137.2	110.0
5	98.3	123.8	117.6	80.0
6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	21.0	34.3	3.7	15.8

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



2月の観光施設入場者数は、団体客や外国人観光客の増加などにより全体では21.0%増となり23ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は15.8%増、南部は34.3%増、中部は3.7%増となりました。

(参考)2019年同月比では、全体で27.2%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は23.7%の減少、南部は28.8%の減少、中部は37.8%の減少となっています。

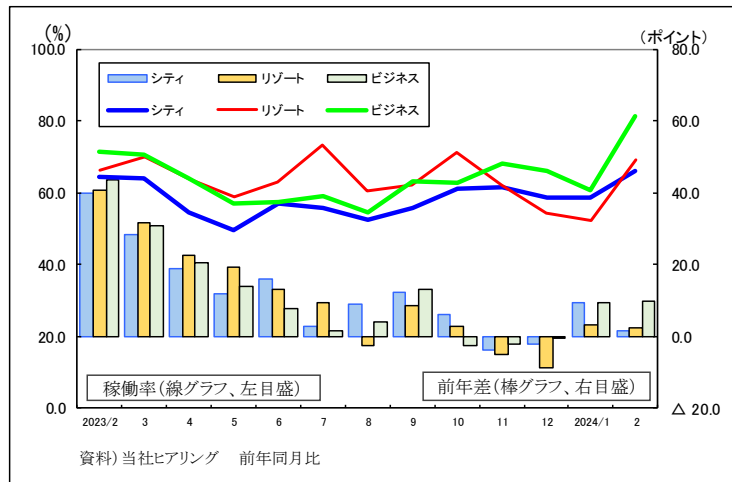
③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/2	64.5	66.5	71.6	39.9	40.6	43.7
3	63.9	70.0	70.8	28.3	31.6	30.8
4	54.4	63.7	64.1	18.9	22.5	20.6
5	49.4	58.8	57.2	12.0	19.3	13.9
6	57.0	62.9	57.6	16.0	13.0	7.7
7	55.9	73.4	59.1	2.9	9.5	1.6
8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	66.0	69.0	81.3	1.5	2.5	9.7

注) シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



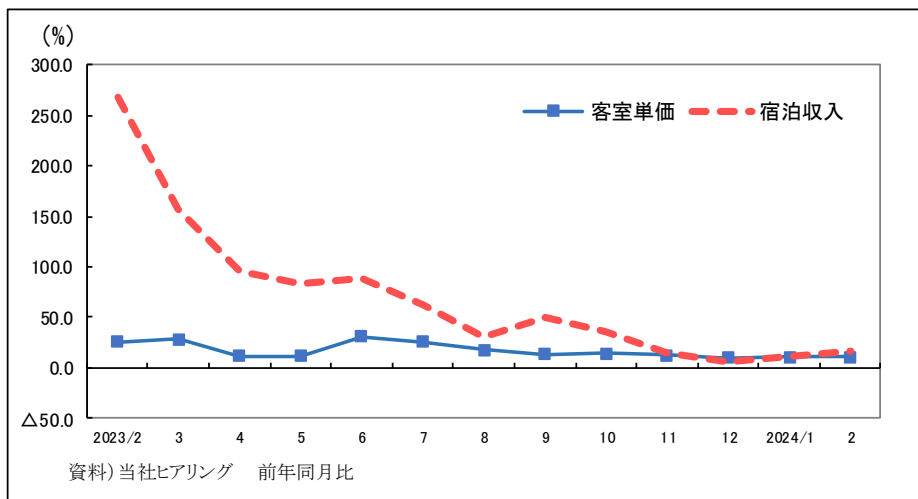
県内ホテル稼働率は、団体客増加や各種イベントの開催などから、シティホテルは前年同月比 1.5 ポイント増加、リゾートホテルは 2.5 ポイント増加、ビジネスホテルは 9.7 ポイント増加しました。

(参考) 2019 年同月比では、シティホテルは 22.2 ポイントの減少、リゾートホテルは 11.3 ポイントの減少、ビジネスホテルは 6.7 ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/2	25.7	267.7
3	28.3	157.9
4	11.5	96.4
5	11.3	82.6
6	30.9	88.4
7	25.7	61.4
8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	10.2	16.9



※対象施設数: 22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く

※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

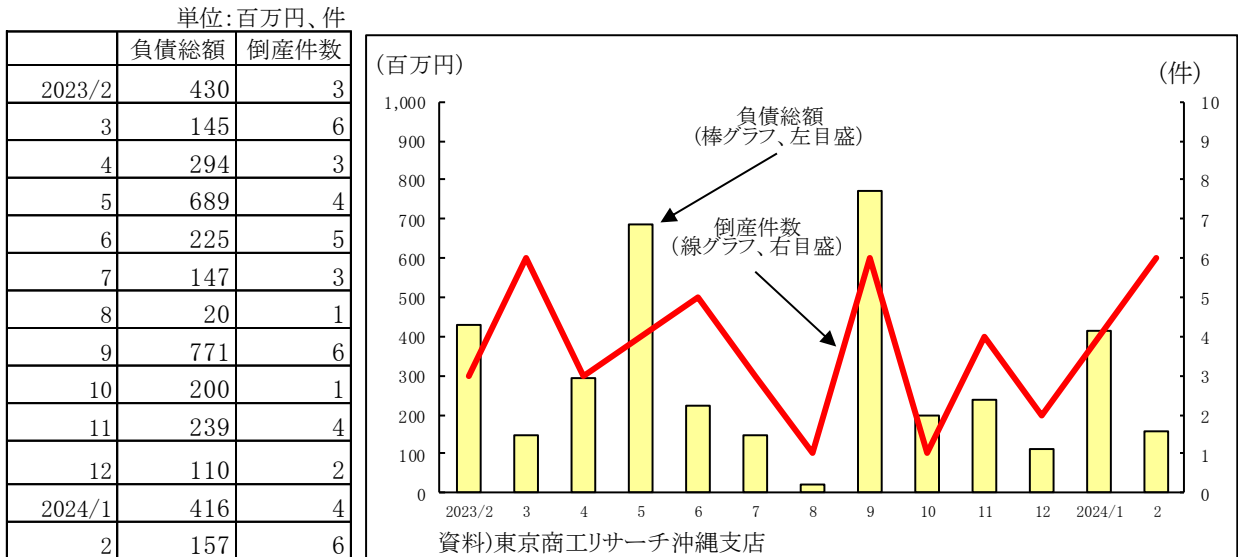
ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 10.2%増と 13 ヶ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**は 16.9%増と 27 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019 年同月比では、客室単価は 14.5%の増加、客室収入は 14.0%の減少となっています。



■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

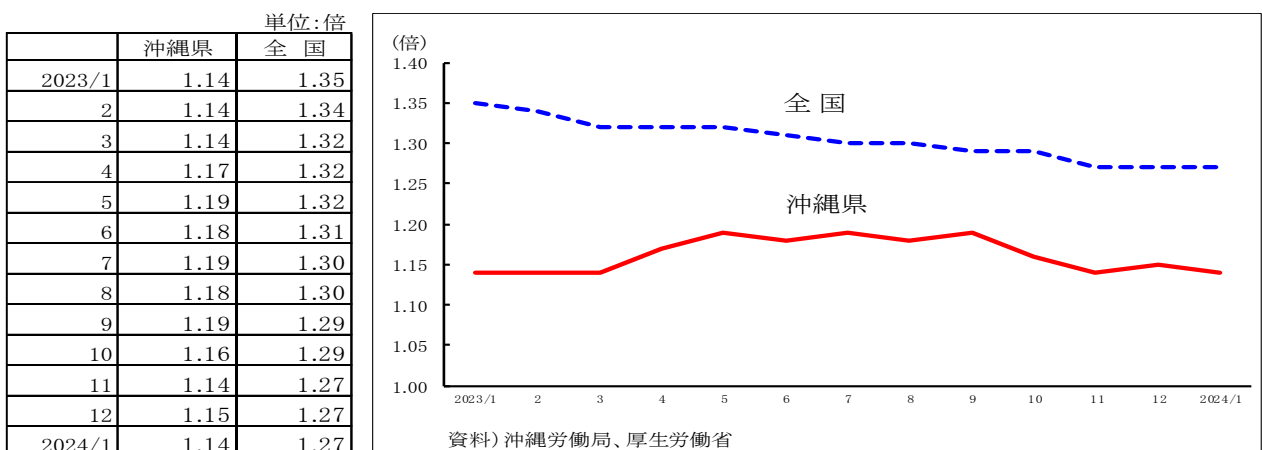
2月の**企業倒産件数**は6件(うち1億円以上10億円未満の大口倒産は発生なし)となり、前年同月より100.0%上回りました。

負債総額は1億5,700万円となり、前年同月より63.5%下回りました。



■雇用関連： (やや良い)

①【参考】有効求人倍率・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。



注) 季節調整済

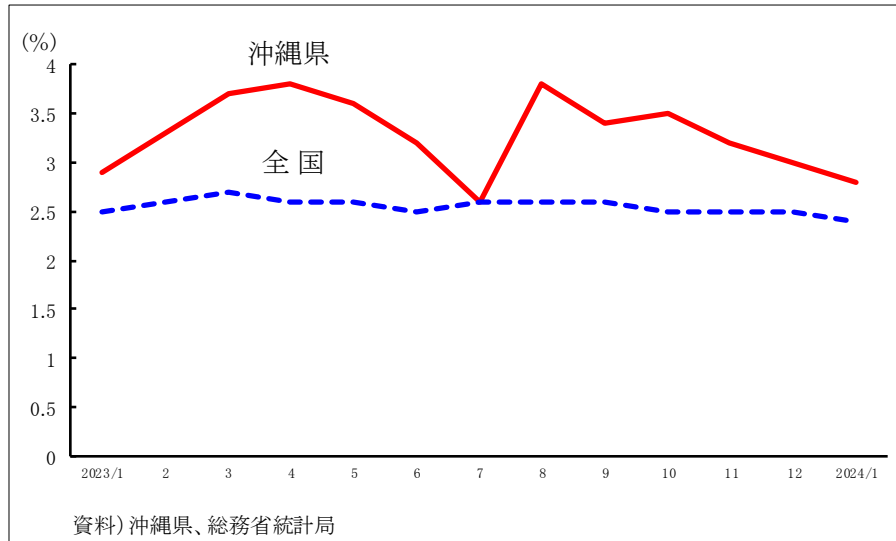
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

1月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.3%減の32,947人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.4%増の28,958人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は1.14倍と、前月より0.01ポイント低下しました。

② 【参考】完全失業率・・・沖縄、全国はともに前月より低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/1	2.9	2.5
2	3.3	2.6
3	3.7	2.7
4	3.8	2.6
5	3.6	2.6
6	3.2	2.5
7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4



注) 季節調整済

1月の完全失業率(季節調整値)は、2.8%となり前月より0.2ポイント低下しました。